

(総合選抜型)

天理大学文学部歴史文化学科

自己アピール選抜受験体験記

総合選抜型(自己アピール選抜)のプレゼンテーション(『2022入試ガイド』p.21)について、高校現場から、どのように受験していいかわからないという戸惑いの声が聞こえてきました。そこで、入学生に協力してもらい、受験体験記を作成することにいたしました。

自己アピール選抜の「実績の該当基準」には、(A)文化・芸術、スポーツの分野、(B)社会活動・課外活動の分野、(C)資格・技術取得分野、(D)その他の分野の4つがあり、多様な分野での実績を認めています(『2022入試ガイド』p.23)。

一方、歴史文化学科のアドミッションポリシーには①～⑦の7項目あり、⑦では、**社会活動・課外活動などの分野で積極的に取り組んだ経験を有し、歴史に関心がある人**、としています(『2022入試ガイド』p.59)。自己アピール選抜は、この⑦にあたります。歴史文化学科では、課外活動などに打ち込みながらも、「歴史文化」を学ぶ意欲ある学生を求めています。このアドミッションポリシーを理解したうえで、プレゼンテーションに取り組んでほしいと考えています。

これまで、プレゼンテーションの骨子をスケッチブックに記す、あるいはパワーポイントで作成して、面接に臨んだ受験生がいます。いずれも、しっかりと準備をしてくれました。天理大学への入学への意欲、勉学の姿勢が大切で、プレゼンテーションのテクニックの優劣を問うわけではありません。スケッチブックやパワーポイントを使わなければならないというわけではありませんが、どのように受験に取り組んできたのかは評価点になります。

なにはともあれ、最後は、「**天理大学で歴史を学びたい**」そんな熱意ある学生が歴史文化学科に入学してくれることを望んでいます。



山田友香さんのプレゼンテーション資料

Q 総合選抜型(自己アピール選抜)で受けてみようと思ったのはなぜですか。

天理大学で学びたいと思う気持ちが強かったのと、学業成績だけでなく高校3年間の活動などを評価する受験方式は**自分の特性を生かせる**と思い受験しました。

Q 自己アピールで取り上げたことは何ですか。

高校3年間、同級生と演劇ユニットを立ち上げて賞レースに参加し海外公演を行って、そこで得た経験が歴史を学びたいと思うきっかけになったので、その経験を取り上げました。

Q プレゼンテーションの準備はどうしましたか。

プレゼンテーションではパワーポイントを使いました。とても緊張しやすい性格なので、受験当日まで学校の先生や同級生にプレゼンを見てもらいながら、発表の練習をしました。

Q 歴史文化学科では、今後どのコースを選んでどんなことを学んでいきたいですか。

今後は歴史学研究コースに進み東アジアの近現代史や朝鮮半島と日本の交流の歴史を学びたいと思っています。

Q 受験生へのアドバイスをお願いします。

自己アピール選抜は自分の個性や学びたい意欲を存分にアピールする事が大切だと思います!是非、歴史文化学科と一緒に学びましょう!



崔智世さん
(2021年入学、大阪朝鮮中高級学校)

山田友香さん
(2021年入学、奈良県立五條高校)



Q 総合選抜型(自己アピール選抜)で受けてみようと思ったのはなぜですか。

先生が自己アピール選抜の受験を勧めてくださったことと、自分自身も自己アピールで受験するのが向いていると思ったからです。

Q 自己アピールで取り上げたことは何ですか。

3年間、軽音楽部に所属していて、春日野音楽祭というステージで演奏したことを取り上げました。演奏会までの短い練習時間のなかでの活動をもとに、**自分の性格や長所をアピール**したかったからです。

Q プレゼンテーションの準備はどうしましたか。

一緒に演奏した友達に、演奏会までに苦労したことなどを取材し、先生にアドバイスをもらって文章を作りました。いろんな先生の所でプレゼンの練習をして、**聞く人が少しでも興味を持ってもらえるような話し方**をすること、**ゆっくり丁寧**に話すことに注意しました。

Q 歴史文化学科では、今後どのコースを選んでどんなことを学んでいきたいですか。

歴史学コースに進んでたくさんの史料を読みたいと思います。特に日本の近世、近代を深く学んでいきたいです。

Q 受験生へのアドバイスをお願いします。

自分の長所を見つけて文を作ることは難しいですが、その長所が歴史を学ぶ上でどのように生きてくるかを考えたらよいと思います。